



はじめに（平成21年6月定例会）

自由民主党の藤井律子でございます。

質問に先立ち、一言申し上げさせていただきます。

先日、アメリカで開催された国際ピアノコンクールにおいて、生まれながらにして全盲という障害がある辻井伸行さんが、日本人として初めて優勝されるという快挙を成し遂げられました。

私も、このコンクールの様子をテレビで拝見致しましたが、何度見ても、神業としか思えない指の動き、記憶力や精神力の素晴らしさに感激をいたしました。

辻井さんの活躍は、世界中に素晴らしい感動を与えると共に、障害のある人、また、その家族の方々に夢や希望、そして、大きな力と勇気を与えてくださったと思います。

また、家族の支えや強い絆があったからこそ、辻井さんの感性と才能が花開き、彼のたゆまない努力があったからこそ、ハンディを乗り越え、一人のピアニストとして翔くことができたのだと思いました。

辻井さんに大きな拍手を送ると共に、苦難にも負けない彼の活躍を目の当たりにし、人として、常に向上心をもって生きていくことの大切さを改めて感じたところです。

それでは、通告に従いまして、質問に入らせていただきます。